

# 死亡届

平成 22年 3月 5日届出

東京都小金井市長 殿

受理 平成 年 月 日 第 号	発送 平成 年 月 日					
送付 平成 年 月 日 第 号	長印					
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附 票	住民票	通知

(1) (よみかた)	こ きん い ぞう
(2) 氏 名	小 金 井 蔵 <input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
(3) 生 年 月 日	大正 9年 10月 11日 (生まれてから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください) <input type="checkbox"/> 午前 <input type="checkbox"/> 午後 時 分
(4) 死亡したとき	平成 22年 3月 4日 <input checked="" type="checkbox"/> 午前 <input type="checkbox"/> 午後 5時 6分
(5) 死亡したところ	東京都小金井市本町6丁目 6番地 〇号
(6) 住 所 (住民登録をして いるところ)	東京都 小金井市本町6丁目 6番地 3号 (よみかた) こがねい いぞう 世帯主の氏名 小金井 一郎
(7) 本 籍 (外国人のときは 国籍だけを書いて ください)	東京都 小金井市本町6丁目 6番地 筆頭者の氏名 小 金 井 蔵
(8) 死亡した人の夫 (9) または 妻	<input type="checkbox"/> いる (満 歳) <input type="checkbox"/> いない ( <input type="checkbox"/> 未婚 <input checked="" type="checkbox"/> 死別 <input type="checkbox"/> 離別)
(10) 死亡したときの 世帯のおもな 仕事と	<input type="checkbox"/> 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 <input type="checkbox"/> 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 <input type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input checked="" type="checkbox"/> 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 <input type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯
(11) 死亡した人の 職 業・産 業	(国勢調査の年…平成 年…の4月1日から翌年3月31日までに死亡したときだけ書いてください) 職業 〇〇 産業 〇〇
そ の 他	
届 出 人	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 同居の親族 <input type="checkbox"/> 2. 同居していない親族 <input type="checkbox"/> 3. 同居者 <input type="checkbox"/> 4. 家主 <input type="checkbox"/> 5. 地主 <input type="checkbox"/> 6. 家屋管理人 <input type="checkbox"/> 7. 土地管理人 <input type="checkbox"/> 8. 公設所の長 住所 東京都小金井市本町6丁目 6番地 3号 本籍 東京都小金井市本町6丁目 6番地 筆頭者の氏名 小 金 井 一 郎 署名 小金井 一郎 (小 井) 昭和46年 7月 24日生

記入の注  
鉛筆や消え  
で書かない  
死亡したこ  
からかぞえ  
出してくだ  
届書は、1  
えありませ

「筆頭者の  
戸籍のはじ  
めている人  
の氏名を  
書いてくだ  
さい。

内縁のもの  
は、あて  
ません。

には、あ  
てないよう  
に書いてく  
ださい

死亡者につ  
いては、あ  
てないよう  
に書いてく  
ださい。

◎届出人の  
持参くだ  
さい。

捨印  
小 井

事件簿番号	連絡先 電話 (383) 1111 番 自宅・勤務先・呼出 方
-------	---------------------------------------

届けられた事項は、人口動態調査(統計法に基づく指定統計第5号、厚生労働省所管)にも用いられます。

# 死亡診断書 (死体検案書)

この死亡診断書(死体検案書)は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。かい書で、できるだけ詳しく書いてください。

### 記入の注意

氏名	小金井 蔵		①男 2女	生年月日	明治 昭和 平成 9年10月11日 (生まれてから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください) 午前・午後 時 分
死亡したとき	平成 22年 3月 4日 午前・午後 5時 6分				
(12) 死亡したところ (13) 及びその種別	死亡したところの種別	①病院 2診療所 3老人保健施設 4助産所 5老人ホーム 6自宅 7その他			
	死亡したところ	東京都小金井市本町6丁目6番地 〇〇号			
(14) 死亡の原因	(ア) 直接死因	肺癌		発病(発症)又は受傷から死亡までの期間	約2年8ヵ月
	(イ) (ア)の原因	不詳		◆年、月、日等の単位で書いてください。ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で書いてください。(例: 1年3ヵ月、5時間20分)	不詳
	(ウ) (イ)の原因				
	(エ) (イ)の原因				
	II 直接には死因に関係しないがI欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等				
(15) 死因の種類	手術	①無 2有	部位及び主要所見		手術年月日 平成 昭和 年 月 日
	解剖	①無 2有	主要所見		
(16) 外因死の追加事項	①病死及び自然死	外因死 不慮の外因死 { 2交通事故 3転倒・転落 4溺水 5煙、火災及び火焔による傷害 } 6窒息 7中毒 8その他 その他及び不詳の外因死 { 9自殺 10他殺 11その他及び不詳の外因 } 12不詳の死			
	傷害が発生したとき	平成・昭和 年 月 日 午前・午後 時 分	傷害が発生したところ	都道府県 市区町村	
	◆伝聞又は推定情報の場合でも書いてください	手段及び状況			
(17) 生後1年未満で病死した場合の追加事項	出生時体重	グラム	単胎・多胎の別	妊娠週数	
	妊娠・分娩時における母体の病態又は異状	母の生年月日		前回までの妊娠の結果	
(18) その他特に付言すべきことから	1無 2有	3不詳		出生児 人 死産児 胎 (妊娠満22週以後に限る)	
	上記のとおり診断(検案)する				
(19) 病院、診療所若しくは老人保健施設等の名称及び所在地又は医師の住所(氏名) 医師	〇〇〇〇病院		東京都小金井市本町6丁目6番地		役所 〇号
	役所 太郎				

生年月日が不詳の場合は、推定年齢をカッコを付して書いてください。

夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

「老人ホーム」は、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホームをいいます。

傷病名等は、日本語で書いてください。I欄では、各傷病について発病の型(例:急性)、病因(例:病原体名)、部位(例:胃噴門部がん)、性状(例:病理組織型)等もできるだけ書いてください。

妊娠中の死亡の場合は「妊娠満何週」、また、分娩中の死亡の場合は「妊娠満何週の内分中」と書いてください。

産後42日未満の死亡の場合は「妊娠満何週産後何日」と書いてください。

I欄及びII欄に関係した手術について、術式又はその診断名と関連のある所見等を書いてください。紹介状や伝聞等による情報についてもカッコを付して書いてください。

「2交通事故」は、事故発生からの期間にかかわらず、その事故による死亡が該当します。「5煙、火災及び火焔による傷害」は、火災による一酸化炭素中毒、窒息等も含まれます。

「1住居」とは、住宅、庭等をいい、老人ホーム等の居住施設は含まれません。

傷害がどういった状況で起こったかを具体的に書いてください。

妊娠週数は、最終月経、基礎体温、超音波計測等により推定し、できるだけ正確に書いてください。

母子健康手帳等を参考に書いてください。

いんキ  
ださい。

知った日  
日以内に

さしつか

には、  
記載され  
を書いて

くまれま

まるもの  
るしをつ

書いてく

をこ  
い。